

いのちの言の葉2015

富山県教育委員会平成27年度いのちの教育総合支援事業

「いのちの授業」(総合的な学習の時間)

射水市立放生津小学校 4年
平成27年11月18日実施

【いのちの先生】

塘添 誠次先生

・県視覚障害者協会理事

【授業の概要】

- 1 「いのちの先生」の話
- 2 質疑応答
- 3 サウンドテーブルテニス体験



<保護者の感想>

①

目だけが都合悪いとか、部位のみではなく、健康そのものがとても貴重なのだと毎日思います。毎朝目が覚めて、お腹がすき、けがをすれば痛く、楽しいと思ったり嬉しいと思ったりする事が当たり前だと思うのは、それをもっているからで、不自由さを身をもって体験して初めて、それまでの恵まれた健康に気がきます。この授業で少しでも、元気に活動できる幸福を知ってそれに感謝し、お互い助け合える人になってほしいです。

②

塘添先生のお話を聞いて、生活でのご苦労等、理解・想像できたようです。自分が健康で五体満足であること、大好きな野球等、いろんな事が何不自由なく出来ることが、どれほどうれしいことか感じてもらえたように思います。今後いろんな人との出会いがある彼にとって、今日のお話を参考にして、いろんな人に臨機応変に接することが出来る人になってほしいです。

<児童の感想>

①

塘添先生のお話を聞いて、人は当たり前にも何でもできるが、障害をもった人は思うようにできない。人の命は一つ一つ大切なんだなと思いました。これからも人を大切にしようと思いました。

②

私たちはふつうに歩いたりすることは、当たり前だと思っていました。でも先生の話聞いて、先生みたいに身体が不自由な人もいて、当たり前のことが当たり前じゃない人もいたんだなと思いました。不自由なことがあっても自分で工夫したり、努力したりすることが大事なんだと思いました。私たちが生きていることは、とても大切なことなんだと思いました。